

日中友好新聞

日中友好協会
愛知県連第356号
県連版第4-18
〒464-0821
名古屋千種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail:niccyuaic
hi@gmail.com
郵便口座
00890-6-25484

「台湾有事」と日中関係の前途

緑支部総会での 井上会長の記念講演

4月26日、名古屋市内の生涯学習センターで緑支部総会の後、記念講演会「台湾有事と日中関係の前途」講師：(井上久士日中友好協会会長)が開催された。

講演の冒頭に参加者から、案内チラシにある「日本の反中国意識はいかにして作られたのか」についてまず教えてほしい、との要望が出された。講師から、福澤諭吉の脱亜論から始まり、日清戦争で日本が勝利したなどの影響が大きい。その時から中国には近代国家を作る能力がないのだから日本が支配することはよいことだ、とすることが中国蔑視に繋がっていった。

ところが最近になって中国が実力を蓄え、いまでは大きな経済力を持つようになり、日本の比較的優位性がなくなるほどになり、その屈辱感が反中国に結びついてきた。との説明があった。

〈講演の内容〉

①はじめに：高市首相の台湾有事発言以後、日本と中国の

関係が最悪の状況になってきた。安倍首相の時でもこれほどひどくはなかった。予定原稿から外れて自らの主義主張を発言し、しかもその発言が極めて危険であるにもかかわらず発言を撤回しようとはしない姿勢が見られる。



台湾有事発言の前にはAPCで日中首脳が会談したが、たったの30分であった。はじめて会った首脳がいきなり挨拶もそこそこにレアアース、日本人の身柄拘束、東南シナ海問題、香港、新疆ウイグル地区の人権問題、日本食品の輸入規制問題、北朝鮮日本人拉致問題などへの懸念を伝え対応を求めた。というが言うだけ

そのうち4月17日海上自衛隊の護衛艦が台湾海峡を通過した。この日はほかでもない下関条約の締結の日だ、すなわち「日本が台湾を略奪した日」にわざわざ通過させたのです。これは中国とは仲良く

の状態で果たして外交といえるであろうか。

米中首脳会談でトランプ大統領は台湾問題について問われ、一切問題にならなかったと述べている。

また3月24日に起こった自衛官の中国大使館侵入事件は大問題である。大使館は中国の領土と見なされる場所であり射殺されても仕方がないような場所である。このことに対して中国は冷静に対応した。本来は翌日にでも首相と外相が総領事館に向き謝罪すべき案件である。そうすればさっきの台湾有事発言も良い方向に向けて解決の可能性があった。ところが高市首相がしていることは、ずっと上から目線であり、謝ってあげないと言っている。

する気が全くないことを示しています。

高市発言に対する中国側の「強力な不満」は当然と言っ
てよい。1972年の日中共同声明で確認された「一つの中国」などの政治的な約束事も無視し、今までの中日関係に重大な損害を与えた、といっている。そして、日本は新型軍国主義に突入した、と述べている。

トランプは「民主主義」という価値観を放棄した。そのような変化がまるで読めていない、理解できていないのが高市首相だ。そして台湾の歴史、さらに大日本帝国はポツダム宣言を受諾して無条件降伏した経緯なども不勉強か、あるいは無視した修正主義に陥っている。「ポツダム宣言では「日本国の主権は本州、北海道、九州、および四国並びに我らの決定する諸小島

最後に「日中関係の前途」については、以下のことを考慮する必要がある。

すでに西欧諸国をはじめ「脱アメリカ」の動きは加速している。

中国は、アメリカ対中国を含む全世界(アメリカの孤立)という構図に持っていかうとしており、現に成功しつつある。各国は争って中国訪問

(外交)をしている。昨年12月フランス・マクロン大統領、今年1月アイルランド首相、韓国・李首相、カナダ・カーニ首相、英国・スターマー首相、2月ドイツ・メルツ首相、と枚挙にいとまがない。

有意義だった懇親会

井上会長との懇親会を講演会場のすぐ近く(旧東海道・鳴海宿)の料亭で開催しました(写真下)。

井上会長が、自身の協会との関わり(以前は学生時代から日中に関わる人がけっこうあった)ことや、名前だけではなく何らかの役割を求めたら、では何人か入る副会長の一人に、となった。そして前任者が高齢になられ、書記局長から「会長は必要で、名前だけで良いですから」といわれた。それがエピソードだ。



参加者からもそれぞれの協会との出会いや、経過が語られて(このあたりは緑支部ニュースに出るかも)とても楽しく、かつ互いを知って記憶に残るものばかりでした。

全国大会(沖縄)にあたって

◆2026年の全国大会は、6月6日(土)・7日(日)に沖縄で開催されます。◆いま日中友好協会は、他の民主団体と同様に「存立の危機事態」にあります。◆その要点は①若い人材の力で新時代にふさわしい協会を再構築できるか。②それにそれを支える財政の問題です。◆①戦争の実体験者(間接的も)が減る中で「日中不再戦」だけではない友好交流をどう作るか?②多額の寄付で支えられてきた財政の見直しと工夫、などがあります。◆会員と役員の高齢化で、組織は若返らなければ確実に縮小します。◆この間その解決の一つとして「中国百科検定」などの取り組みが行われてきましたが、まだ十分とは言えません。◆皆さん、日中友好協会のこれからをいっしょに考えましょう。(愛知県連理事長：木俣博)

沖縄での全国大会を会員増で迎えよう

▼豊田支部：新「知ろう中国カフェ」、第4回は5月16日(土) 14:00(崇化館にて、参加費2000円(会員1000円))

▼熱中支部：4月19日(日)に映画会「山の郵便配達」を行います

県連だより

た。※なお、これと「敦煌」のDVDは岐阜県連のご好意によるもので、今後県連で活用させていただきます。

▼シルクロード支部 日中友好協会の「太極拳」は今年50周年を迎え、11月18日に東京武道館で盛大な式典(実演)を行います。

▼漢詩の会 次回：5月31日(日) 14時

▼茶友会 次回：5月16日(土) 10:30

憲法施行79周年記念市民の集いに参加して

5月3日、名古屋市公会堂で開かれた市民の集いに参加しました。元NHKプロデューサーの大森淳郎さんが「戦時ラジオ放送から今学ぶこと」と題して講演されました。

林家三平さんが国策落語「出征祝い」を演じ、演芸評論家の柏木新さんと三平さんの対談が行われました。三平さんは父の初代林家三平は特攻隊員だった。穴を掘って敵の戦車がやってきましたら爆弾で爆破するよう命じられていた。父はそのとき一度死んだと思う。戦後は笑いを人々に届けるのが自分の務めと思っていたに違いない。母は東京大空襲で6人の家族を失った。この2人がいなければ今の自分はいない。と語られました。改めて戦争はあってはならない、と思いました。(桜井久美子)

◆「中国百科検定」
①次回・第19回は、7月4日(土) 初級～2級
②第20回は、12月5日(土) 初級～特級です。
◆4月1日から申込み受付が始まっ

ています。(締切は6月15日)ぜひ受検のご検討ください。
◆また、愛知県連と本部主催で下記のような対策講座を行います。ぜひご視聴ください。



視聴参加 無料

そのための猛烈な練習を重ねています。みなさまの協賛の力ンパをお願いします。

中国百科検定Zoom対策講座

中国少数民族の文化 (雲南省を中心に)

5月24日(日)

14:00～16:00

中国百科検定について(公式サイト)



過去の対策講座動画



現地会場

日本中国友好協会愛知県連合会事務所
〒464-0821
名古屋市千種区末盛通り4-18 エイシンビル1階
TEL: 052-763-1152

ZoomURLとQRコード:

[https://us02web.zoom.us/j/82122006993?](https://us02web.zoom.us/j/82122006993?pwd=zfrWW77IKfoK1o1TwDONkgYvuaJ1IQ.1)

[pwd=zfrWW77IKfoK1o1TwDONkgYvuaJ1IQ.1](https://us02web.zoom.us/j/82122006993?pwd=zfrWW77IKfoK1o1TwDONkgYvuaJ1IQ.1)

Zoom ID = 821 2200 6993 パスコード = 761402



プロの中国琵琶奏者。
中国西南少数民族音楽研究、日中国古代楽器を専門に研究。

講師 **宗婷婷先生** (中部大学准教授)

主催：日本中国友好協会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル5階

Tel: 03(5839)2140 Fax: 03(5839)2141 E-mail: nicchu@jcfca-net.gr.jp



に開く多様なロボット産業の発展が期待されています。中国はロボット産業の発展が期待されています。中国はロボット産業の発展が期待されています。



最近、中国のロボット技術は大きく進歩しています。中国のロボット技術は大きく進歩しています。

6.5. 中国のロボット技術

中国ものづくりローナー

中国のロボット技術は大きく進歩しています。中国のロボット技術は大きく進歩しています。



中国のロボット技術は大きく進歩しています。中国のロボット技術は大きく進歩しています。